

木曾節は「木曾のナー 中乗りさん 木曾の御嶽さんは ナンジャラホーイ 夏でも寒い ヨイヨイヨイ」、のどかな、郷愁を誘う節回しです。

その御嶽山が何の前触れもなく突然に噴火しました。

自然の恐ろしさをまたもや、まざまざと見せつけられました。

穏やかな秋の日に紅葉を楽しんでいた山と登山を愛する人々に襲いかかった自然は、なんと残酷で容赦のないものでしょう。地震、津波、河川の氾濫、土砂崩れ、噴火と私たちはまさに自然災害の中で暮らしているのだと感じました。平穏な日々を送れることは奇跡に近いこととあらためて思います。今日一日を過ごせた事を感謝して眠りにつきましょ。明日もきっと来ると信じて。

皆様と、この時、この場所を共有していることを大切にしたいと思います。



### [最近目立つ病気]

嘔吐・下痢のウイルス性胃腸炎や溶連菌感染症が少し目立ってきました。涼しくなるとともに、長びく咳が多くなっています。この中には気管支喘息などのアレルギーを持っている人も見られます。乳幼児ではRSウイルス感染症もみられます。高熱が続き、咳やゼーゼーといった息づかいがみられます。これから冬にかけてRSウイルスや溶連菌感染症は流行期に入ります。

ウイルス性胃腸炎は、まだノロウイルスやロタウイルスではありません。一年中、胃腸炎が流行するのは、現代人の胃腸機能が弱ってきているのでしょう。腸は免疫機能と深い関係があると言われています。免疫機能の破綻であるアレルギー疾患が増えていることと関連があると思います。では、胃腸を鍛えるにはどうすればよいのでしょうか？腸内細菌叢を整えることが目標です。まず、3度の食事を好き嫌いせずにしっかり食べることが一番大事なことです。また、発酵食品を食べることも大切です。豆腐、味噌、醤油、漬物、ヨーグルト、チーズなどが代表的な発酵食品です。皆さん、食べていますか？

### [ Dengue熱 ]

ネッタイシマカやヒトスジシマカによって媒介されるデングウイルスの感染症です。非致死性の熱性疾患であるデング熱と、重症型のデング出血熱やデングショック症候群の二つの病態があります。

デングウイルスは日本脳炎ウイルスと同じフラビウイルス科に属するウイルスです。4つの血清型(1型、2型、3型、4型)に分類され、1つの型に感染した場合、他の血清型に対する交叉防御免疫は数ヶ月で消失し、その後は他の型に感染します。この再感染時に重症のデング出血熱になる確率が高くなると言われています。デングウイルスはヒト→蚊→ヒトの感染環を形成し、日本脳炎ウイルスにおけるブタのような増幅動物は存在しません。

ほとんどの患者さんは、デング熱と呼ばれる一過性熱性疾患の症状を

呈します。3～7日の潜伏期間後、突然の発熱で始まり、頭痛特に眼窩痛・筋肉痛・関節痛を伴うことが多く、食欲不振、腹痛、便秘を伴うこともあります。発熱のパターンは二峰性になることが多いようです。発症後、3～4日後より胸部・体幹から始まる発疹が出現し、四肢・顔面へ広がります。これらの症状は1週間程度で消失し、通常、後遺症なく回復します。

### [ Dengue出血熱 ]

デングウイルス感染後、デング熱とほぼ同様に発症して経過した患者さんの一部において、突然に、血漿漏出と出血傾向を主症状とするデング出血熱が発症します。重篤な症状は、発熱が終わり平熱に戻りかけたときに起こることが特徴的です。

患者さんは不安・興奮状態となり、発汗がみられ、四肢は冷たくなります。胸水や腹水が極めて高率にみられます。また、肝臓の腫脹、補体の活性化、血小板減少、血液凝固時間延長がみられます。多くの例で細かい点状出血がみられます。さらに出血熱の名が示すように、10～20%の例で鼻出血・消化管出血などがみられます。症状の重症度によりGrade 1～4の4段階に分けられ、ショック症状を示すGrade 3、4はデングショック症候群と呼ばれることもあります。デング出血熱は、適切な治療が行われないと死に至る疾患です。致死率は国により異なり、数パーセントから1パーセント以下と様々です。

### [ Ebola出血熱 ]

世界保健機関(WHO)は9月23日時点で、エボラ出血熱での死者が、疑いも含めて3,091人、感染者が6,574人にのぼると発表しました。WHOは、このまま対策を講じなければ、11月上旬にも感染者が2万人を突破すると試算しています。致死率は、50%から90%もあり、西アフリカの国々に拡大しています。国別の累計死者数は、リベリアが1,830人、ギニアが648人、シエラレオネが605人、ナイジェリアが8人となっています。

これを書いている最中に新しいニュースが入りました。

「エボラウイルスの感染が広がっている西アフリカのリベリアから先月20日、アメリカに入国した男性が、入国から4日後に体調を崩し、30日、エボラ出血熱を発症していることが確認されました。アメリカでエボラ出血熱の発症が確認されたのは今回が初めてで、男性は28日から南部テキサス州ダラスの病院で隔離され治療を受けています。この問題で、州政府や病院の担当者が、記者会見し、男性が発症してから入院するまでの4日間に接触した可能性があるのは、男性の親族の子ども5人を含む、少なくとも12人から18人に上ることを明らかにしました。」日本にこのウイルスが侵入するのかもしれない。

### [ ワクチン最新事情 ]

水痘(水ぼうそう)ワクチンは、10月1日から、定期接種となりました。1歳以上3歳未満で3か月以上の間隔で2回の接種です。今年度に限り3歳以上5歳未満の児は経過措置として1回の接種が受けられますが、今までに水痘ワクチンを受けたことのない児に限られます。



☆大手町の夜間急病診療所(TEL:222-0099)では午後7時から11時まで、小児科と内科の診療を年中無休で行っています。加畑の担当は10/14、11/16の予定です。

☆11月8日(土)は全国学校保健・学校医大会で発表のため休診です。

☆金沢市では今年度も幼児期の任意接種のワクチン(おたふくかぜ・インフルエンザ)についての助成金制度を行っています。詳細は受付でお尋ね下さい。

☆インフルエンザワクチン接種を実施しています。(10月15日～H27.1月下旬)

☆世界の宝「憲法9条」を次の世代に贈りましょう。

